



「木を切ることが終わりではなく、次の森づくりの始まり。未来のために植えて育てる。その営みを続けていくのが、私たちの使命」と話すのは、白鳥林工協業組合(郡上市白鳥町大島)の美谷添里恵子代表理事(71)。

県内で森林整備と木材加工を担い、県産材による建築材や、長良スギを使ったパネルの製造・販売

近況 人を育て、森を育てる

を展開してきた。「林業は分岐点」と位置付けるように、山林の管理や木材の業界は必ずしも追い風と言える状況ではない。それでも「地域の山は、地域の人で守る」との思いを胸に、地域の森林を守り育てていく覚悟を見せる。

人材育成にこだわり、どの現場もベテランと若手がチームを組み、知見や経験を受け継いでいる。毎朝のミーティングで、いい雰囲気の中で一日をスタートさせる。

「組織にとって大切なのは、人。互いに助け合って誇りを持って仕事をできることが大切。人を育てるのは、森を育てることでもある」と語る。